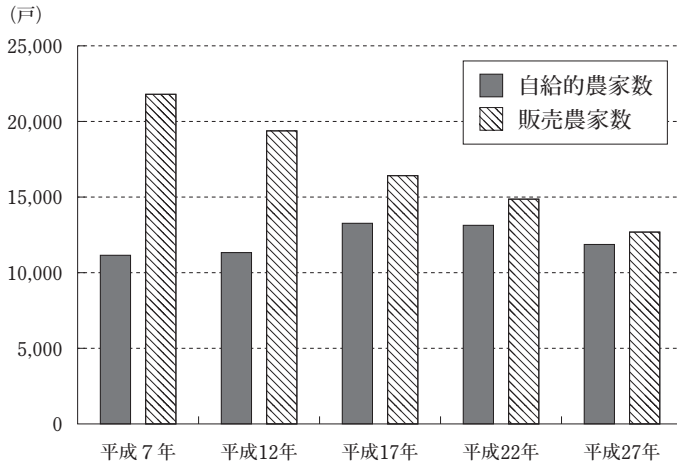


7

農林水産業

農家数の推移



農林業センサス結果

7 農 林 水 産 業

概 況	101
1 農 家 数	104
2 年齢別農家人口（販売農家）	104
3 農業労働力及び農業就業人口（販売農家）	105
4 経営耕地面積（販売農家）	106
5 農業産出額と生産農業所得	107
6 耕 地 面 積	107
7 穀類、野菜類、果樹等の作付延べ面積	107
8 農 作 物	108
9 畜 産	109
10 食料生産力（自給率）	110
11 農地転用許可件数と面積	110
12 森林面積及び蓄積	111
13 造 林 面 積	114
14 伐採面積及び伐採立木材積	114
15 木材（素材）及び林産物生産量	115
16 保有山林面積の規模別林業経営体数	115
17 漁 業 経 営 体 数	116
18 経営体階層別漁業経営体数	116
19 漁 業 就 業 者	117
20 漁船隻数・動力漁船トン数規模別隻数	117
21 漁業部門別及び漁業種類別生産量	118
22 魚 種 別 漁 獲 量	119
23 水系別内水面漁業漁獲量	120
24 水産加工品生産量	120

概 況

農 業

農家戸数

平成27年の総農家数は2万4552戸で、県総世帯に占める割合は約0.6%である。また、販売農家戸数は1万2685戸で総農家数の51.7%を占めている。販売農家を専・兼業別にみると、専業農家は全体の39.7%で5031戸、第1種兼業農家は全体の10.3%で1301戸、第2種兼業農家は全体の50.1%で6353戸となっており、第2種兼業農家の占める割合が高い。

経営耕地面積規模別にみると、1.0ha未満の農家が9006戸で販売農家全体の71.0%を占め、1.0～2.0haが23.5%、2.0ha以上が5.5%となっている。

農業就業者数

平成27年の農家人口（販売農家）は4万8082人で、県総人口に占める割合は約0.5%である。農業就業人口は2万4195人で、年齢別では60歳以上の割合が69.5%で、年々その割合は高くなっており農業労働力の高齢化が進んでいる。

（農政課）

耕地面積

令和元年の耕地面積は、1万8800haで県土の約7.8%を占めている。年々減少の傾向にあるが、近年では毎年200haから300ha程度の減少にとどまっている。

耕地面積のうち、田は3670ha（構成比19.5%）、畑は1万5100ha（同80.5%）である。全国の畑の比率は45.6%であるので、畑の比率が著しく高いのが本県農業の特徴となっている。

（農地課）

農畜産物

令和元年の農作物の作付延べ面積は、1万7500ha（対前年比97.2%）と微減で推移している。主な作物の収穫量は、水稲1万4300t、だいこん7万6000t、キャベツ6万4300t、みかん1万4500tである。

令和元年の乳用牛の飼養農家は185戸で、飼養頭数5,430頭、生乳の年間生産量3万947tとなっている。肉用牛の飼養農家は62戸で、飼養頭数4,820頭、豚は50戸で6万8700頭、採卵鶏は48戸で114万7千羽となっている。

令和元年の野菜などの生産量を1人当たり消費量に換算すると、野菜は231万人分、果実は53万人分、鶏卵は93万人分、牛乳は84万人分、豚肉は45万人分に相当し、本県の農業は県民の食生活に大きく寄与している。

（農業振興課、畜産課）

農業産出額

平成30年の農業産出額は697億円（対前年比83.1%）で、構成比は野菜51.6%、畜産20.9%、果実・花き18.3%となっている。

農家経済

平成30年度の耕地10a当たりの生産農業所得は、全国平均が79千円であるのに対し、140千円となっている。

※生産農業所得：農産物の産出額に所得率をかけて、各種交付金を加えた額。

（農政課）

森林・林業

森林の概況

本県の森林面積は、令和2年3月現在9万4701haで、県土面積の39%を占めている。このうち国有林を除いた森林（民有林）の面積は8万4048haで全森林の89%を占め、そのうちの立木地面積は、スギ・ヒノキを中心とする人工林が3万1942ha、天然林は4万8264haとなっており、民有林立木地に対する割合は、人工林40%、天然林60%である。人工林の林齢構成は、36年生以上の森林が91%を占めており、資源の成熟化が進んでいる。

森林は、水資源のかん養、県土の保全、スポーツ・レクリエーションの場の提供、二酸化炭素の吸収による地球温暖化の防止など多くの公益的機能をもつ多面的資源であり、県民生活において、その果たす役割は極めて重要である。

地域特性

本県の森林は、その地域の特性から次の3地域に大別できる。

1 里山城

概ね標高300m未満にある約3万1000haの森林地域である。県の東部から中部、三浦半島及び西部に至る市街地及び市街地周辺の丘陵性の森林であり、コナラ・クスギ等広葉樹が多い。木材生産はほとんど行われていないが、都市化の進展にともない生活環境保全林としてかけがえのない森林である。

2 山地域

概ね標高300～800m未満にある約4万4000haの森林地域である。丹沢山地や箱根外輪山を中心としてスギ、ヒノキの人工林が多く、古くから林業活動が行われてきた地域である。また、宮ヶ瀬湖・相模湖・丹沢湖等のダム上流の森林は水源かん養林として重要な役割を担っている。さらに首都圏の森林レクリエーションの場として多くの人々に利用されている地域である。

3 奥山城

概ね標高800m以上の丹沢の奥地や箱根を中心とした急峻な地形の多い、約2万haの森林地域である。この地域はブナを始めとする天然林が多く、県下で最も原生的な自然が残っている。かながわの原風景とも言うべき貴重な自然であり、野生動物を含めた森林生態系を保全していくことが重要である。

森林・林業の現状

昭和40～50年代以降、安価な外国産材の輸入や代替材の普及などによる木材価格の低迷や経営コストの上昇により採算性が悪化したことに加え、林業従事者の高齢化や減少、不在村所有者の増加、薪炭需要の激減などにより、林業が低迷し手入れが十分に行われず、荒廃した森林が増加していた。水源地域の森林は、良質な水や清浄な空気を育む母体として、県民一人ひとりの生活に欠かせない重要な役割を担っているが、そのまま放置すれば、その働きが損なわれる恐れが強まっていった。

そこで、県では、荒廃の進む私有林の公的管理・支援を行うため、平成9年度から「水源の森林づくり事業」を開始した。平成19年度からは、本事業を「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」に位置づけ、加速化して取り組んでおり、適正に管理されている森林は着実に増加している。

一方で、県産木材の有効活用への支援を通じて間伐を促進し、森林の適正な管理を図るため、平成17年度から県産木材の生産対策、加工対策、消費対策にわたる総合的な取組を進めており、木材の生産量は着実に増加し、令和元年度の木材生産量は2万9846m³となっている。

このほか、荒廃した県内の森林再生には長い年月と県民の支援・協力が必要なことから、平成18年度に、県内の森林全体の再生の方向とめざす姿を示した「かながわ森林再生50年構想」をとりまとめ、県民とめざす姿を共有し、協働して森林づくりを進めている。

(森林再生課)

水産業

本県の水産業をめぐる現状は、生産者価格の低迷や水産資源の減少、漁業就業者の高齢化、マグロ類資源に対する国際的な漁業規制の強化などにより厳しさを増している。一方、県民の「新鮮で安全な地場産水産物に親しみたい・海・川とふれあいたい」といった要望は年々高まりつつある。

そこで、県では、このような県民からの期待に応えるため、平成17年3月に「かながわ水産業活性化指針」を策定し、平成28年3月に改定した。この指針では、10年後（令和7年）の水産業のめざす姿を定め、これを実現するために重点的に取り組む施策を明らかにした。現在、この指針を基に水産業の振興に向けた各施策を展開している。

平成30年の本県の海面漁業・養殖業生産量は、2万9187トン（漁業2万8138トン、養殖業1049トン）であり、全国海面漁業・養殖業生産量436万4401トン（漁業335万9530トン、養殖業100万4871トン）の0.66%であった。

平成30年の漁業センサスに基づく漁業経営体数は1005経営体、漁業就業者数は1848人、漁船隻数1779隻である。漁港は25港（令和2年4月1日現在）で、この他川崎港を除く6港湾には漁港と同様の機能を備えた区域があり、漁業活動に利用されている。

平成30年の本県の漁業部門別生産量は、遠洋漁業1万6572トン、沖合漁業423トン、沿岸漁業（海面養殖を含む）1万2191トンである。遠洋漁業では、主に遠洋まぐろはえ縄が行われており、前年に比べ1832トン（12.4%）増加した。沖合漁業では、主にさばたもすくいやきんめだい等の底魚釣りが行われており、前年に比べ、3トン（0.7%）増加した。沿岸漁業では、主に大・小型定置網漁業、中・小型まき網漁業、さば釣漁業、刺網漁業、小型底びき網漁業、海面養殖業等が行われており、前年に比べ2622トン（21.5%）減少した。

魚種別生産量では、かつおが9161トン、きはだが2581トン、まいわしが2112トン、めばちが1936トン、さば類が1717トンで、これらの5種で全体の62.2%を占めている。

海面養殖業では、主にわかめ、のり、こんぶの養殖が行われており、生産量は1049トンで前年に比べ122トン（10.4%）減少した。

平成30年の内水面漁業・養殖業の生産量は463トン（漁業395トン、養殖業68トン）である。内水面漁業の主要魚種はあゆ、うぐい、おいかわであり、前年に比べ13トン（3.2%）減少した。内水面養殖業では、あゆ、にじます等が生産され、生産量は前年に比べ8トン（13.3%）増加した。

(注) 海面漁業生産統計調査等の結果公表数値は属人主義であることから、国立研究開発法人水産研究・教育機構（横浜市神奈川区）に所属する全国の調査船等の漁獲実績のデータは、本部のある横浜市神奈川区に計上される。

ここでは、上記機構の漁獲実績を除くとともに、併せて県水産技術センター分の数値も除いたもので記述したため、経営体数・生産量等は関東農政局神奈川県拠点公表する海面漁業生産統計調査等の統計数値とは異なる。

(水産課)

1 農 家 数

単位 戸

(各年 2 月 1 日現在) 農林業センサス (農林業経営体調査) 結果

区 分	平成 17 年	22 年	27 年
総 農 家 数	29,681	27,996	24,552
自 給 的 農 家 数	13,267	13,133	11,867
販 売 農 家 数	16,414	14,863	12,685
専 業 農 家	4,479	4,864	5,031
第 1 種 兼 業 農 家	2,612	2,092	1,301
第 2 種 兼 業 農 家	9,323	7,907	6,353
経営耕地面積規模別農家数 (販売農家)			
0.5ha 未 満	5,566	4,679	4,026
0.5 ～ 1.0	6,575	6,092	4,980
1.0 ～ 1.5	2,601	2,398	2,079
1.5 ～ 2.0	1,054	1,014	900
2.0ha 以 上	618	680	700

- (注) 1 「農家」とは経営耕地面積が10a以上の農業を営む世帯または過去1年間の農産物販売金額が15万円以上あった世帯。
 2 「販売農家」とは経営耕地面積が30a以上、または農産物販売金額が50万円以上の農家でこれ以外は「自給的農家」。
 3 「第1種兼業農家」とは、農業所得を主とする兼業農家をいい、「第2種兼業農家」とは、農業所得を従とする兼業農家をいう。

2 年 齢 別 農 家 人 口 (販 売 農 家)

単位 人

(各年 2 月 1 日現在) 農林業センサス (農林業経営体調査) 結果

区 分	平成 17 年	22 年	27 年	
計	73,582	61,951	48,082	
小 計	36,537	30,762	24,098	
男	14 歳 以 下	3,913	2,815	1,773
	15 ～ 29	6,427	4,911	3,306
	30 ～ 59	13,577	10,825	8,018
	60 ～ 64	2,263	2,548	2,275
	65 歳 以 上	10,357	9,663	8,726
小 計	37,045	31,189	23,984	
女	14 歳 以 下	3,780	2,701	1,713
	15 ～ 29	6,061	4,698	3,090
	30 ～ 59	12,623	10,209	7,465
	60 ～ 64	2,603	2,342	2,092
	65 歳 以 上	11,978	11,239	9,624

3 農業労働力及び農業就業人口（販売農家）

1. 従事状況別農業労働力（販売農家）

単位 人 (各年2月1日現在) 農林業センサス (農林業経営体調査) 結果

年 別	農業従事者総数			農業就業人口			基幹的農業従事者数		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成17年	48,758	26,097	22,661	35,604	16,855	18,749	27,063	15,275	11,788
22年	42,696	22,881	19,815	28,331	14,756	13,575	24,046	14,025	10,021
27年	33,458	18,309	15,149	24,195	12,720	11,475	20,302	12,053	8,249

- (注) 1 「農業従事者」とは、15歳以上の農家世帯員のうち、過去1年間に何日かでも自営農業に従事した者。
 2 「農業就業人口」とは、農業従事者のうち「自営農業だけに従事した者」と「その他の仕事（兼業）にも従事したが自営農業従事日数の方が多い者」の合計。
 3 「基幹的農業従事者」とは、農業就業人口のうち、自営農業を主な仕事としている者。

2. 年齢別農業就業人口（販売農家）

単位 人 (各年2月1日現在) 農林業センサス (農林業経営体調査) 結果

区 分		平成17年	22年	27年
計		35,604	28,331	24,195
小 計		16,855	14,756	12,720
男	15 ~ 29	1,536	701	693
	30 ~ 59	4,810	4,132	3,272
	60 ~ 64	1,644	1,706	1,520
	65歳以上	8,865	8,217	7,235
小 計		18,749	13,575	11,475
女	15 ~ 29	747	285	306
	30 ~ 59	6,758	3,950	3,110
	60 ~ 64	2,249	1,604	1,433
	65歳以上	8,995	7,736	6,626

4 経営耕地面積（販売農家）

（各年2月1日現在）農林業センサス（農林業経営体調査）結果

市町村	経営耕地のある 農業経営体数	経営耕地 総面積	田	畑	樹園地
	経営体	a	a	a	a
平成17年	16,358	1,303,754	309,197	703,057	291,500
22年	14,794	1,235,995	298,956	672,009	265,030
27年	12,591	1,085,018	260,576	608,970	215,472
横浜市	2,006	163,921	12,620	125,034	26,267
川崎市	593	34,774	1,284	22,711	10,779
相模原市	557	40,479	5,495	31,035	3,949
横須賀市	351	35,939	834	32,403	2,702
平塚市	1,076	101,142	60,783	37,807	2,552
鎌倉市	62	5,429	428	4,611	390
藤沢市	668	66,231	10,609	45,068	10,554
小田原市	1,172	104,738	30,296	18,403	56,039
茅ヶ崎市	340	26,101	4,250	19,792	2,059
逗子市	X	X	X	X	X
三浦市	709	93,399	545	92,164	690
秦野市	716	57,903	9,277	37,217	11,409
厚木市	647	50,779	28,456	18,786	3,537
大和市	178	13,563	991	9,902	2,670
伊勢原市	637	66,019	30,275	24,795	10,949
海老名市	338	33,657	17,687	14,865	1,105
座間市	145	11,349	5,934	5,231	184
南足柄市	501	35,112	10,400	7,573	17,139
綾瀬市	190	16,836	2,039	12,773	2,024
葉山町	17	898	121	712	65
寒川町	168	12,262	4,300	6,965	997
大磯町	149	11,644	1,358	5,273	5,013
二宮町	78	5,675	137	2,417	3,121
中井町	272	23,489	1,459	12,489	9,541
大井町	230	17,717	5,994	5,988	5,735
大松町	109	6,022	1,256	1,726	3,040
山北町	177	10,332	1,641	2,456	6,235
開成町	142	10,042	8,186	967	889
箱根町	X	X	X	X	X
真鶴町	35	2,902	10	171	2,721
湯河原町	171	13,846	146	1,632	12,068
愛川町	128	11,395	3,600	7,168	627
清川村	24	1,131	131	771	229

(注) 1 「農業経営体」とは、農産物の生産を行うかまたは委託を受けて農業作業を行い、生産に係る面積・頭数が規定の規模以上に該当する事業を行う者をいう。

2 経営耕地とは、調査日現在で農林業経営体が経営している耕地（けい畔を含む田、畑、樹園地）をいい、自ら所有している耕地（自作地）と他から借りて耕作している耕地（借入地）の合計の面積である。
経営耕地＝所有地（田、畑、樹園地）－貸付耕地－耕作放棄地＋借入耕地

5 農業産出額と生産農業所得

単位 億円

生産農業所得統計

区 分	平成 28 年	29 年	30 年
農 業 産 出 額 計	846	839	697
耕 種 小 計	678	673	548
米	32	34	36
麦 類	0	…	0
雑 穀 豆 類	3	2	2
い も 類	19	16	13
野 菜	476	463	360
果 実	86	98	82
花 き	51	48	45
工 芸 農 作 物	2	1	1
そ の 他	9	…	9
畜 産 小 計	165	163	146
生 乳	44	41	39
豚	54	59	48
鶏 卵	47	46	41
そ の 他	20	17	18
加 工 農 産 物	3	2	2
生 産 農 業 所 得	310	300	268

6 耕 地 面 積

単位 ha

(各年7月15日現在) 作物(面積) 統計調査結果

年 別	田	畑	普通畑			樹 園 地	牧 草 地
			普通畑	樹園地	牧草地		
平 成 29 年	3,760	15,500	11,900	3,620	-		
30 年	3,730	15,400	11,800	3,560	-		
令 和 元 年	3,670	15,100	11,600	3,500	-		

(注) 「耕地」とは農作物の栽培(生産物を得ることを目的として作物を肥培管理すること。)を目的とする土地のことをいい、けい畔を含む。

7 穀類、野菜類、果樹等の作付延べ面積

単位 ha

作物(面積) 統計調査結果

年 別	作付延べ面積	水 稻	陸 稻	小 麦	野 菜	果 樹	飼肥料作物
平 成 29 年	18,200	3,090	5	33	…	…	…
30 年	18,000	3,080	…	34	…	…	…
令 和 元 年	17,500	3,040	…	43	…	…	…

(注) 1 水稻、陸稲、小麦は子実用作付面積である。
 2 平成29年産から、国が調査方法を変更したため、野菜、果樹、飼料作物は数値が得られない。
 3 平成30年産から、国が調査方法を変更したため、陸稲は数値が得られない。

8 農 作 物

1. 主な農作物の収穫量

作物（作況）統計調査結果

年 別	水 稲		陸 稲		小 麦		野 菜 類	果 樹
	収穫量	10 a 当たり 収 量	収穫量	10 a 当たり 収 量	収穫量	10 a 当たり 収 量		
	t	kg	t	kg	t	kg	t	t
平成 29 年	15,700	509	9	185	97	294	260,092	30,344
30 年	15,200	492	9	185	97	285	259,998	28,974
令和元年	14,300	470	9	185	120	279	246,961	24,769

- (注) 1 水稻、陸稲、小麦は子実用の収穫量。
 2 野菜は調査対象41品目、果樹は調査対象14品目の収穫量。
 3 陸稲については、平成30年から作付面積は3年、収穫量は6年ごとの全国調査となり、令和元年は主産県調査年のため、全国直近調査年の値。(農業振興課調)
 4 野菜の平成29年、30年、令和元年、果樹の平成29年、30年、令和元年の収穫量は全国調査中間年のため、調査対象外品目は、全国直近調査年の値。(農業振興課調)

2. 主な農作物の品目別作付面積、単位収量、収穫量

作物（作況）統計調査結果

年 別	豆 類			野 菜 類								
	大 豆			だ い こ ん			春植えばれいしょ			さ と い も		
	作付 面積	10 a 当たり 収 量	収穫量	作付 面積	10 a 当たり 収 量	収穫量	作付 面積	10 a 当たり 収 量	収穫量	作付 面積	10 a 当たり 収 量	収穫量
	ha	kg	t	ha	kg	t	ha	kg	t	ha	kg	t
平成29年	42	143	60	1,130	6,610	74,700	434	1,340	5,820
30年	41	132	54	1,110	7,210	80,000	434	1,390	6,030
令和元年	40	138	55	1,070	7,100	76,000	371	392	1,330	5,210

年 別	野 菜 類											
	キ ャ ベ ツ			ほ う れ ん そ う			ね ぎ			き ゆ う り		
	作付 面積	10 a 当たり 収 量	収穫量	作付 面積	10 a 当たり 収 量	収穫量	作付 面積	10 a 当たり 収 量	収穫量	作付 面積	10 a 当たり 収 量	収穫量
	ha	kg	t	ha	kg	t	ha	kg	t	ha	kg	t
平成29年	1,630	4,710	76,700	676	1,190	8,040	359	2,200	7,910	265	4,230	11,200
30年	1,600	4,450	71,200	675	1,240	8,370	356	2,160	7,680	261	4,250	11,100
令和元年	1,440	4,470	64,300	661	1,220	8,060	400	2,140	8,560	260	4,230	11,000

年 別	野 菜 類											
	な す			ト マ ト			か ぶ			こ ま つ な		
	作付 面積	10 a 当たり 収 量	収穫量	作付 面積	10 a 当たり 収 量	収穫量	作付 面積	10 a 当たり 収 量	収穫量	作付 面積	10 a 当たり 収 量	収穫量
	ha	kg	t	ha	kg	t	ha	kg	t	ha	kg	t
平成29年	176	2,320	4,080	263	4,870	12,800	102	2,450	2,500	411	1,350	5,550
30年	170	2,310	3,930	259	4,670	12,100	102	2,400	2,450	411	1,460	6,000
令和元年	150	2,270	3,410	248	4,880	12,100	102	2,440	2,490	406	1,680	6,820

8 農 作 物 (つづき)

2. 主な農作物の品目別作付面積、単位収量、収穫量 (つづき) 作物 (作況) 統計調査結果

年 別	野 菜 類											
	カリフラワー			ブロッコリー			か ぼ ち ゃ			さやいんげん		
	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量
	ha	kg	t	ha	kg	t	ha	kg	t	ha	kg	t
平成29年	37	1,480	548	126	1,200	1,510	216	1,540	3,330	99	651	644
30年	37	1,470	544	128	1,210	1,550	207	1,590	3,290	98	623	611
令和元年	37	1,530	566	110	1,200	1,320	219	1,980	4,340	83	692	574

年 別	野 菜 類						果 樹					
	え だ ま め			す い か			み か ん			日 本 な し		
	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量	結果樹面積	10 a 当たり収量	収穫量	結果樹面積	10 a 当たり収量	収穫量
	ha	kg	t	ha	kg	t	ha	kg	t	ha	kg	t
平成29年	318	803	2,550	376	3,030	11,400	1,150	1,670	19,200	233	2,020	4,710
30年	316	863	2,730	370	3,130	11,600	1,130	1,520	17,200	231	2,120	4,900
令和元年	336	842	2,830	282	3,040	8,570	1,100	1,320	14,500	224	1,910	4,280

年 別	果 樹					
	く り			キウイフルーツ		
	結果樹面積	10 a 当たり収量	収穫量	結果樹面積	10 a 当たり収量	収穫量
	ha	kg	t	ha	kg	t
平成29年	424	87	369	136	1,380	1,880
30年	426	89	379	133	1,370	1,820
令和元年	418	80	334	132	1,120	1,480

(注) 野菜類、豆類、果樹は全国調査の中間年に実施する本県の主産県調査対象品目 (全国作付面積の概ね8割を占めるまでの都道府県で収穫される品目) を掲載している。(春植えばれいしょは該当しないが掲載)

9 畜 産

1. 家畜の飼養農家数、飼養数

(各年2月1日現在) 畜産統計調査結果

年 別	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏(含種鶏)	
	飼養農家数	頭数	飼養農家数	頭数	飼養農家数	頭数	飼養農家数	羽数
	戸	頭	戸	頭	戸	頭	戸	千羽
平成29年	213	6,080	67	4,620	52	71,900	55	1,100
30年	195	5,750	64	4,620	51	64,300	49	1,194
令和元年	185	5,430	62	4,820	50	68,700	48	1,147

2. 畜産物生産量

牛乳乳製品統計調査結果、畜産課調、畜産物流 (鶏卵流通統計) 調査結果

年 別	生 乳	豚 肉	鶏 卵
	t	t	t
平成29年	35,770	10,006	18,836
30年	33,674	9,783	18,683
令和元年	30,947	9,168	19,112

(注) 豚肉は畜産課調

10 食料生産力(自給率)

1. 農産物

作物統計、農業振興課調

	平成30年			令和元年		
	水稲	野菜	果実	水稲	野菜	果実
1人当り消費量 (粗食料) kg	59.4	103.4	48.7	58.5	103.7	46.5
県内需要量(1,000t)	545.3	949.2	447.1	538.2	954.1	427.8
〃生産量(1,000t)	15.2	252.6	28.9	14.3	239.6	24.8
〃生産力(%)	3	27	6	3	25	6
(万人分)	26	244	59	24	231	53

- (注) 1 1人当り消費量は「食料需給表」平成30年、令和元年概算値。
 2 平成30年の県内需要量は、平成30年10月1日現在 県人口9,179,835人×1人当り消費量。
 3 令和元年の県内需要量は、令和元年10月1日現在 県人口9,200,166人×1人当り消費量。
 4 水稲、野菜(ばれいしょを除く)、果実の生産量は「作物統計」農業振興課調。

2. 畜産物

作物統計、畜産課調

	平成30年			令和元年		
	鶏卵	飲用牛乳等	豚肉	鶏卵	飲用牛乳等	豚肉
1人当り消費量 (粗食料) kg	20.6	36.0	20.5	20.6	37.0	20.3
県内需要量(1,000t)	189.1	330.5	188.2	189.5	340.4	186.8
〃生産量(1,000t)	18.7	33.7	9.8	19.1	30.9	9.2
〃生産力(%)	10	10	5	10	9	5
(万人分)	91	93	48	93	84	45

- (注) 1 1人当り消費量は「食料需給表」平成30年、令和元年概算値。
 2 平成30年の県内需要量は、平成30年10月1日現在 県人口9,179,835人×1人当り消費量。
 3 令和元年の県内需要量は、令和元年10月1日現在 県人口9,200,166人×1人当り消費量。
 4 飲用牛乳等の生産量は、生乳生産量「牛乳製品統計調査」。
 5 鶏卵は農林水産省「畜産物流通(鶏卵流通統計)調査」、豚肉は畜産課調。

11 農地転用許可件数と面積

農地課調

区分	総数		許可に係るもの				届出に係るもの	
	件数	面積	件数	うち大	面積	うち大	件数	面積
				協議		協議		
		ha		4ha超	ha	4ha超		ha
平成29年年	5,911	277.6	665	-	53.7	-	5,246	223.9
令和30年年	5,602	272.3	776	-	71.1	-	4,826	201.2
令和元年年	6,016	273.9	564	-	52.8	-	5,452	221.2
農家住宅	21	1.2	9	-	0.2	-	12	0.9
一般個人住宅	3,281	108.4	81	-	3.2	-	3,200	105.2
集団住宅	625	32.0	9	-	0.5	-	616	31.5
学舎	16	0.7	-	-	-	-	16	0.7
園路・運動場	8	0.5	2	-	0.1	-	6	0.3
水道・鉄道用地	146	2.9	5	-	0.1	-	141	2.7
官庁・病院等公共施設	40	3.8	8	-	1.2	-	32	2.6
工舎・店舗等用地	34	3.5	3	-	0.1	-	31	3.5
流通業務等施設	116	8.8	5	-	1.7	-	111	7.1
ゴルフ場その他レジャー施設	14	1.1	-	-	-	-	14	1.1
その他業務用地	15	2.4	6	-	1.2	-	9	1.2
その他業務用地	1,633	104.5	428	-	43.0	-	1,205	61.4
その他	9	0.6	1	-	0.1	-	8	0.5
その他	58	3.6	7	-	1.2	-	51	2.4

- (注) 1 農地法第4条及び第5条の規定による許可、届出の件数、面積。
 2 市街化区域内は農業委員会への届出、その他の区域は知事または指定市町村の長の許可による。
 3 国又は県等が転用する場合は許可・届出を要しない。
 4 面積は単位未満四捨五入のため、総数と内訳が一致しない場合がある。

12 森林面積及び蓄積

1. 森林の所有形態別面積

単位 ha

森林再生課調

年	計	国有林	民有林
令和元年	94,701	10,653	84,048

(注) 1 神奈川県地域森林計画書（平成29年12月樹立）による。
 2 民有林とは、県有・市町村有の公有林と私有林の総称。

2. 国 有 林 （平成31年3月31日現在） 関東森林管理局調

市町村別	面 積					
	総 数	林 地				除 地
		計	人工林	天然林	無立木地	
	ha	ha	ha	ha	ha	ha
平成29年度	9,042	8,374	3,484	4,876	14	668
30年度	9,042	8,374	3,484	4,876	14	668
令和元年度	9,042	8,374	3,484	4,876	14	668
相模原市	670	618	569	49	-	52
秦野市	648	600	111	489	-	48
山北町	6,225	5,757	2,164	3,578	14	468
箱根町	1,415	1,320	579	741	-	95
湯河原町	85	79	60	19	-	6

市町村別	蓄 積									
	総 数	人 工 林			天 然 林			除 地		
		計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹
	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³
平成29年度	1,511,147	906,646	842,965	63,681	604,317	91,893	512,424	184	158	26
30年度	1,511,147	906,646	842,965	63,681	604,317	91,893	512,424	184	158	26
令和元年度	1,511,147	906,646	842,965	63,681	604,317	91,893	512,424	184	158	26
相模原市	151,033	143,419	133,860	9,559	7,614	2,125	5,489	-	-	-
秦野市	73,954	39,925	38,065	1,860	34,029	1,656	32,373	-	-	-
山北町	1,013,991	524,555	479,274	45,281	489,266	84,039	405,227	170	158	12
箱根町	256,497	184,815	178,634	6,181	71,668	3,598	68,070	14	-	14
湯河原町	15,672	13,932	13,132	800	1,740	475	1,265	-	-	-

(注) 1 本表で示す「国有林」とは、関東森林管理局で管理する国有林のことをいう。
 2 森林面積及び蓄積数値は、国有林野施業実施計画書による。
 3 令和元年度森林計画樹立により、平成29年度及び平成30年度の数値を変更した。

12 森 林 面 積

3. 民 有 林

市 町 村 別	面 積			
	総 計	人 工 林	天 然 林	竹 林
	ha	ha	ha	ha
平 成 29 年 度	84,226	31,964	48,339	888
30 年 度	84,048	31,942	48,264	882
令 和 元 年 度	84,048	31,942	48,264	882
横 浜 市	3,658	663	2,680	293
川 崎 市	773	43	637	87
相 模 原 市	17,915	8,702	8,645	52
横 須 賀 市	2,847	82	2,498	36
平 塚 市	492	41	424	16
鎌 倉 市	1,278	195	1,065	13
藤 沢 市	559	161	369	25
小 田 原 市	4,228	2,828	1,220	37
茅 ヶ 崎 市	283	120	152	8
逗 子 市	627	193	432	1
三 浦 市	586	10	550	9
秦 野 市	4,799	2,105	2,513	77
厚 木 市	2,645	762	1,751	25
大 和 市	160	73	85	3
伊 勢 原 市	2,086	1,009	1,011	39
海 老 名 市	74	12	57	4
座 間 市	89	11	75	2
南 足 柄 市	4,732	3,234	1,328	61
綾 瀬 市	156	50	95	8
葉 山 町	878	166	697	11
寒 川 町	24	3	20	0
大 磯 町	526	59	457	5
二 宮 町	174	18	152	2
中 井 町	652	94	467	14
大 井 町	348	84	248	8
松 田 町	2,860	1,327	1,463	1
山 北 町	13,860	4,422	8,863	4
開 成 町	-	-	-	-
箱 根 町	5,565	1,623	3,655	8
真 鶴 町	353	167	137	3
湯 河 原 町	2,975	841	1,766	17
愛 川 町	1,486	583	846	13
清 川 村	6,359	2,260	3,906	-

及 び 蓄 積 (つづき)

(各年4月1日現在) 森林再生課調

		蓄 積		
無 立 木 地	更新困難地	総 計	人 工 林	天 然 林
ha	ha	m ³	m ³	m ³
1,996	1,039	18,558,767	11,778,734	6,780,033
1,931	1,031	19,401,614	12,476,777	6,924,837
1,931	1,031	19,401,614	12,476,777	6,924,837
19	2	669,337	251,497	417,840
3	3	115,082	15,368	99,714
225	292	4,923,366	3,610,297	1,313,069
185	46	423,957	34,039	389,918
11	-	69,123	14,512	54,611
5	-	249,167	82,478	166,689
4	-	110,034	55,895	54,139
109	33	1,160,263	994,179	166,084
4	-	61,707	38,765	22,942
2	-	147,423	79,894	67,529
13	5	89,356	3,298	86,058
71	33	1,213,063	881,714	331,349
104	3	562,352	307,439	254,913
-	-	37,233	24,300	12,933
24	3	559,165	396,216	162,949
1	-	12,973	4,275	8,698
1	-	15,060	3,775	11,285
96	13	1,483,374	1,305,113	178,261
3	-	31,917	17,347	14,570
4	-	179,382	70,250	109,132
-	-	4,264	1,117	3,147
4	-	88,190	23,275	64,915
3	-	27,515	5,927	21,588
77	-	103,107	41,100	62,007
8	-	70,060	37,502	32,558
36	33	722,056	524,625	197,431
219	352	2,850,691	1,638,905	1,211,786
-	-	-	-	-
232	47	1,019,951	583,052	436,899
44	1	63,620	47,635	15,985
338	13	486,065	274,243	211,822
42	2	373,687	250,249	123,438
44	149	1,479,074	858,496	620,578

13 造 林 面 積

1 国 有 林

単位 ha

関東森林管理局調

年 別	新 植	改 植	計
平成 29 年度	2.93	-	2.93
30 年度	2.08	-	2.08
令和元年度	0	-	0

2 民 有 林

単位 ha

森林再生課調

年 別	新 植	改 植	計
平成 29 年度	44	-	44
30 年度	20	-	20
令和元年度	31	-	31

14 伐採面積及び伐採立木材積

1 国 有 林

関東森林管理局調

年 別	伐 採 面 積			伐 採 立 木 材 積		
	計	主 伐	間 伐	計	針 葉 樹	広 葉 樹
	ha	ha	ha	m ³	m ³	m ³
平成 29 年度	47	6	41	8,192	6,787	1,405
30 年度	39	12	27	8,018	6,179	1,839
令和元年度	65	0	65	5,617	5,587	30

2 民 有 林

森林再生課調

年 別	伐 採 面 積			伐 採 立 木 材 積		
	計	主 伐	間 伐	計	針 葉 樹	広 葉 樹
	ha	ha	ha	m ³	m ³	m ³
平成 29 年度	2,099	43	2,056	222,183	212,460	9,723
30 年度	2,107	54	2,053	169,556	163,899	5,657
令和元年度	1,968	104	1,864	184,229	180,688	3,541

15 木材（素材）及び林産物生産量

1. 木材生産量（素材）

森林再生課調

年 別	スギ	ヒノキ	マツ	その他 針葉樹	合 計
	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³
平成 29 年	14,431	14,825	3	175	29,435
国有林	1,660	600	-	-	2,660
民有林	12,771	14,225	3	175	27,175
平成 30 年	14,538	15,373	2	51	29,964
国有林	1,066	417	-	-	1,483
民有林	13,472	14,956	2	51	28,481
令和 元年	14,232	15,222	46	227	29,726
国有林	396	1,638	-	-	2,034
民有林	13,836	13,583	46	227	27,692

2. 林産物生産量

森林再生課調

年 別	木炭	薪	素材	製材	竹材	栗	きのこ類 〔生しいたけ ひらたけ なめこ〕
	t	千層積m ³	千m ³	千m ³	千束	t	t
平成 29 年	16	0.2	29	6	0.0	369	273
30 年	17	0.3	30	6	0.0	379	203
令和 元年	11	0.1	30	6	0.0	334	187

- (注) 1 「製材」は農林水産省「木材統計」による。
 2 「栗」は農林水産省「特用林産基礎資料」による。

16 保有山林面積の規模別林業経営体数

単位 経営体

(平成27年2月1日現在) 2015年農林業センサス結果

区 分	林業経営体計	法人経営体	法人でない経営体	地方公共団体・ 財 産 区
計	326	74	239	13
保有山林なし	20	14	6	-
3 ha 未満	17	4	13	-
3 ～ 5 ha	86	9	77	-
5 ～ 10	67	5	62	-
10 ～ 20	62	18	44	-
20 ～ 30	11	2	8	1
30 ～ 50	21	5	15	1
50 ～ 100	16	9	6	1
100 ～ 500	20	6	7	7
500 ～ 1,000	3	2	1	-
1,000ha 以上	3	-	-	3

- (注) 「林業経営体」とは林産物の生産または委託を受けて林業作業を行い、生産または作業に係る面積が規定の規模以上に該当する事業を行うものをいう。

17 漁業経営体数

単位 経営体

(各年11月1日現在) 漁業センサス海面漁業調査結果

市 町 別	平成 20 年	25 年	30 年
計	1,243	1,157	1,005
横 浜 市	174	167	155
川 崎 市	2	—	—
横 須 賀 市	410	373	318
平 塚 市	10	12	12
鎌 倉 市	40	41	47
藤 沢 市	22	23	22
小 田 原 市	43	41	42
茅 ヶ 崎 市	19	17	16
逗 子 市	15	22	23
三 浦 市	401	350	264
葉 山 町	40	37	34
大 磯 町	17	20	18
二 宮 町	3	3	3
真 鶴 町	40	41	39
湯 河 原 町	7	10	12

(注) 「漁業経営体」とは、過去1年間に利潤または生活の資を得るために生産物を販売することを目的として、海面において水産動植物の採捕または養殖の事業を行った世帯または事業所をいう。
 なお、海上作業従事日数30日未満の個人経営体は含まない。(以下の表も同じ)

18 経営体階層別漁業経営体数

単位 経営体

(各年11月1日現在) 漁業センサス海面漁業調査結果

経営体階層別	平成 20 年	25 年	30 年
計	1,243	1,157	1,005
漁 船 非 使 用	19	21	11
無 動 力 漁 船 の み 使 用	—	—	—
動 力 漁 船 使 用	1,078	992	848
1 トン 未 満	411	384	332
1 ～ 3	143	108	78
3 ～ 5	359	309	225
5 ～ 10	87	91	124
10 ～ 30	49	72	57
30 ～ 100	18	22	26
100 ～ 200	2	3	2
200 ～ 500	3	—	1
500 ～ 1,000	2	—	—
1,000トン 以 上	4	3	3
定 置 網	50	41	38
地 び き 網 (注) 1	—	—	—
海 面 養 殖	96	103	108
魚 類 養 殖	2	—	—
わ か め 養 殖	75	88	90
の り 養 殖	18	12	12
そ の 他 養 殖	1	3	6

(注) 1 平成20年からは、経営体階層から「地びき網」の項目が無くなっている。
 2 「船外機付漁船」は「1トン未満」の「動力漁船使用」に含む。

19 漁 業 就 業 者

単位 人

(各年11月1日現在) 漁業センサス海面漁業調査結果

年 別	計	男					女
		小 計	15～29歳	30～39歳	40～59歳	60歳以上	
平成 20 年	2,496	2,317	145	272	751	1,149	179
25 年	2,273	2,139	167	231	697	1,044	134
30 年	1,848	1,768	142	181	592	853	80

(注) 「漁業就業者」とは、満15歳以上で過去1年間に漁業の海上作業に年間30日以上従事した者をいう。

20 漁船隻数・動力漁船トン数規模別隻数

(平成30年11月1日現在) 漁業センサス海面漁業調査結果

市 町 別	計	無動力 漁船 隻数	船外機 付漁船 隻数	動 力 漁 船									合計 トン数
				隻 数									
				計	1トン 未満	1 } 3	3 } 5	5 } 10	10 } 50	50 } 100	100 } 200	200 以上	
計	1,779	13	922	844	72	128	312	138	174	2	-	18	13,645
横 浜 市	198	-	58	140	4	11	45	67	13	-	-	-	882
川 崎 市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
横 須 賀 市	645	1	413	231	13	39	112	20	46	-	-	1	1,797
平 塚 市	28	-	-	28	-	-	2	3	23	-	-	-	348
鎌 倉 市	83	-	67	16	2	6	7	-	1	-	-	-	56
藤 沢 市	55	-	12	43	6	11	9	7	10	-	-	-	251
小 田 原 市	63	2	6	55	6	12	11	7	19	-	-	-	399
茅 ヶ 崎 市	42	-	5	37	1	2	8	1	25	-	-	-	404
逗 子 市	49	1	26	22	10	7	3	1	1	-	-	-	53
三 浦 市	440	5	260	175	7	31	81	23	14	2	-	17	8,889
葉 山 町	61	-	52	9	4	-	2	-	3	-	-	-	50
大 磯 町	27	-	6	21	-	1	8	5	7	-	-	-	176
二 宮 町	6	2	3	1	-	-	-	-	1	-	-	-	15
真 鶴 町	64	2	9	53	19	7	17	3	7	-	-	-	224
湯 河 原 町	18	-	5	13	-	1	7	1	4	-	-	-	102

21 漁業部門別及び漁業種類別生産量

1. 漁業部門別生産量

単位 t

水産課調

漁業部門別	平成28年	29年	30年
遠洋漁業	14,964	14,740	16,572
沖合漁業	689	420	423
沿岸漁業(海面養殖含む)	14,814	14,813	12,191

(注) 上記の値は国立研究開発法人水産研究・教育機構、県水産技術センター分の数値を除く。(詳細は概況ページの「水産業」の(注)を参照)

2. 漁業種類別生産量

単位 t

海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査結果

漁業種類別	平成28年	29年	30年
計	35,994	34,035	34,118
海面漁業	34,537	32,396	32,606
遠洋底引き網	-	-	-
沖合底引き網1	X	X	X
沖合底引き網2	-	-	-
小型底引き網	652	593	649
船びき	461	336	366
遠洋かつお・まぐろまき網	X	X	X
大・中型まき網	-	-	-
中・小型まき網	831	696	685
その他の刺網	544	518	433
さんま棒受網	-	-	-
大型定置網	7,997	8,227	6,509
小型定置網	1,674	1,637	1,076
その他の網漁業	388	167	198
遠洋まぐろはえ縄	6,586	7,228	5,273
近海まぐろはえ縄	X	-	-
その他のはえ縄	283	288	301
遠洋かつお一本釣	X	X	X
近海かつお一本釣	X	X	X
沿岸かつお一本釣	146	X	X
遠洋いかか釣	-	X	X
近海いかか釣	X	X	X
沿岸いかか釣	22	16	32
ひき縄釣	8	X	X
その他の釣	529	528	353
採貝・採藻	469	629	582
その他の漁業	472	341	333
海面養殖業	973	1,171	1,049
こんぶ類養殖	69	71	88
わかめ類養殖	460	613	621
のり類養殖	X	X	X
その他の養殖	X	-	-
内水面漁業	416	408	395
内水面養殖業	68	60	68

22 魚種別漁獲量

単位 t

海面漁業生産統計調査結果

	平成 28 年	29 年	30 年
計	34,537	32,396	32,606
魚 類	32,989	30,953	30,982
くろまぐろ	359	17	291
びるんなが	579	590	563
めきばち	2,708	3,516	2,236
ききはだ	2,915	2,424	2,864
その他のまぐろ類	209	216	-
まかじき	61	57	59
めかか	520	648	394
くろかじき類	185	180	106
その他のかじき類	33	41	8
かたつお	9,812	8,608	12,317
そうだつお	503	276	378
さめ類	1,924	1,757	1,660
まいわし	1,528	1,222	2,114
うるめいわし	152	167	92
かたくちいわし	2,556	2,148	659
しまらすじ	431	331	353
まさあば	520	629	588
さばんり類	2,295	2,050	1,778
ぶ類	0	X	X
ひらめ類	1,321	2,037	1,099
ひらめ	126	116	93
かれいご類	156	55	52
あなご類	213	128	138
またちご類	205	189	244
またちご類	40	55	65
くろだい・へだ	40	45	61
すずき類	448	308	285
その他の魚類	3,150	3,143	2,485
その他の水産動物類	1,228	991	1,213
いせえび	31	29	30
くまえび	1	0	1
あわび類	9	10	9
あざえ類	234	274	238
その他の貝類	30	25	18
すめいか	434	167	155
あかいか	X	X	X
その他のいか類	X	X	X
そこの他	185	126	122
そこの他	304	360	640
海 藻 類	320	452	411
こんぶ類	-	-	-
その他の海藻類	320	452	411

(注) 海面養殖業を含まない。

23 水系別内水面漁業漁獲量

単位 t

内水面漁業生産統計調査結果

河川・湖沼別	平成 28 年	29 年	30 年
計	416	408	395
多摩川	X	X	X
相模川	407	399	386
酒匂川	…	…	…
芦ノ湖	X	X	X
その他の河川	…	…	…

(注) 内水面養殖業を含まない。

24 水産加工品生産量

単位 t

水産加工統計調査結果

区分	平成 29 年	30 年	令和元年
ねり製品	13,511	13,061	13,386
うち、かまぼこ類	13,511	13,061	13,386
魚肉ハム・ソーセージ	-	-	-
冷凍食品	1,590	1,467	X
うち、魚介類	1,563	1,445	1,458
素干品	12	12	10
うち、するめ	11	11	9
塩干品	9,074	9,233	9,130
うち、干しあじ	3,781	3,869	3,274
煮干品	138	173	141
塩蔵品	24	24	X
くん製品	X	X	X
節製品	269	254	261
その他の食用加工品	3,592	2,821	2,437
生鮮冷凍水産物	2,280	2,056	1,775
うち、いわし類	X	X	X
あじ類	8	X	X
さば類	526	X	X
焼・味付けのり(千枚)	116,029	107,864	110,113